



園芸作物の基礎知識



①栽培のポイント

1.場所の選定

◆栽培に適した場所・土壌を選ぶことが大切です。

- 水はけと通気性が良い、水持ちが良い、土の酸度が適正であること。
 - 病原菌や害虫が少なく、日当たりの良い場所を選ぶ。
- これらの条件が重要になります。

※注意事項として、土が古くなると作物が育ちづらくなったり、収穫間際になって枯れてしまうような現象が起こりやすくなります。特に家庭菜園では、限られた狭い範囲での作付けになりますので、作付け計画や管理が重要になります。

2.土壌の性質

◆土壌には酸性のものとアルカリ性のものがあります。大抵の作物は弱酸性から中性の土壌で生育しますが、酸性土壌に弱いハウレンソウや、ねぎ類を作ろうとする場合はアルカリ性の消石灰や苦土石灰(苦土セルカ2号)など施して土壌に改善することが大切です。日本の土は放置すると酸性に傾いていくため、定期的に土壌の調整が必要です。また、プランターで栽培する場合は土の入れ替えを行うことをおすすめします。

※消石灰を使用した場合、散布後2週間位、間をあけてから種子まき、定植を行ってください。



消石灰

910円



苦土石灰(苦土セルカ2号)

1,130円

初心者の方にも
おすすめ!

②野菜の性質

1.土壌条件について

酸性土に弱いもの

ハウレンソウ、レタス、アスパラガス、ゴボウ、ねぎ、玉ねぎなど

酸性土に少し弱いもの

エンドウ、インゲン、カリフラワー、キャベツ、メロン、そら豆など

酸性土に少し強いもの

カブ、ナス、ピーマン、トマト、きゅうり、白菜、春菊、人参、南瓜、里芋、生姜など

酸性土に強いもの

さつまいも、じゃがいも、西瓜、大根、苺など

2.連作について

連作障害の少ないもの

さつまいも、玉ねぎ、南瓜、人参、大根など

1年以上休耕するもの

キャベツ、カブ、レタス、そら豆、春菊など

2年以上休耕するもの

ハウレンソウ、ねぎ、じゃがいも、白菜、苺など

3年以上休耕するもの

トマト、ピーマン、インゲン、マクワウリ、きゅうり、露地メロンなど

5年以上休耕するもの

ナス、エンドウ、ゴボウ、西瓜、生姜、里芋など

上記のことに気を付けてください。それでは、良い園芸ライフをお過ごしください。